



今の日本の社会と政治 これからの 北海道を考える

「市民が主役」の政治をつくろう！北海道フォーラム

シンポジウム

「私」が決める政治の危うさ

今デモクラシーを問い直す

日時 2014年5月16日(金) 18時～20時

場所 北海道自治労会館 5階大ホール
(札幌市北区北6条西7丁目5-3)

パネリスト 西谷 修さん (立教大学大学院教授)

杉田 敦さん (法政大学教授)

モデレーター 山口二郎さん (法政大学教授)

今回の「つくろう！フォーラム」は、解釈改憲による集团的自衛権の行使容認などに反対する学者約 50 人によって先頃結成された「立憲デモクラシーの会」の呼びかけ人でもある立教大学・西谷修教授と法政大学・杉田敦教授をお招きして、同会の共同代表に就任した法政大学・山口二郎教授（北海道フォーラム呼びかけ人）と、誤解や曲解が横行する「デモクラシー」をキーワードに今日の政治状況を読み解いていただきます。

西谷 修さん



にしに・おさむ 1950年生まれ。フランス現代思想の研究をベースに、戦争、死、技術、制度、医療など、グローバル世界の抱える諸問題に幅広く取り組む。著書『理性の探究』『3・11以後、この絶望の国で』など多数。

杉田 敦さん



すぎた・あつし 1959年生まれ。東大法学部卒業。主な著書に『権力』『政治への想像力』『3.11の政治学 震災・原発事故のあぶり出したもの』『政治的思考』『境界線の政治学』『デモクラシーの論じ方～論争の政治』など。

山口二郎さん



やまぐち・じろう 1958年生まれ。この春、北大を退官し、4月から現職。著書『ポスト戦後政治への対抗軸』『ポピュリズムへの反撃～現代民主主義復活の条件』『政権交代とは何だったのか』など多数。

「市民が主役」の政治をつくろう！北海道フォーラム 2012年末の衆議院選挙による政権交代と安倍政権の復活、そして昨年7月の参議院選挙における再びの自民党圧勝で、日本の政治は歴史がどんどん逆回転していくように動いています。「市民が主役」の政治をつくろう！北海道フォーラム（略称：つくろう！フォーラム）は、政治への不信やアキラメではなく、市民一人ひとりこそが主人公であるということを立脚点に、様々な市民活動・社会運動を交流・連携させながら、政策の学習や提言を行い、政治の場に主役たる市民の声を反映させるために活動しています。

参加費無料・申し込み不要 問い合わせは 090-8906-7056